

「徳島大学・香川大学 連携★統計セミナーPart2中級編」 〈報告〉

「徳島大学・香川大学 連携★統計セミナーPart2中級編」 ZOOM同時配信

日時：2020年12月11日（金） 17：30～20：00

講師：大阪市立大学 大学院医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷 歩 氏

申込人数：154名

12月11日（金）に、「徳島大学・香川大学 連携★統計セミナーPart2中級編」をZOOM同時配信で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする令和2年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施される事業であり、女性研究者（若手研究者・大学院生等を含む）が、自らの研究において必要な統計解析についての知識を高めスキルを向上させることができるよう支援することを目的として開催したものです。本セミナーは徳島大学と連携して、Part1初級編を徳島大学主催、Part2中級編を本学主催にて開催しました。

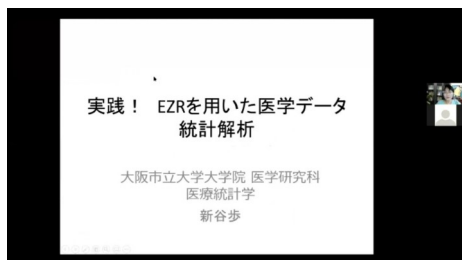
12月2日に行われた徳島大学主催のPart1初級編に引き続いての学内外からの参加者も多く、合計154名の申込がありました。講師の大阪市立大学 大学院医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷先生から、研究者が陥りやすい統計解析上の留意点について、数式を一切用いず、多重検定によるP値の補正、無料ソフトを用いた計算、データの種類に応じた統計テストの選び方、回帰分析モデルの選び方など基本からわかりやすく解説するとともに、実際の研究・解析に役立つ実際例の紹介等をしていただきました。

アンケートでは、「非常に参考になった」52%、「参考になった」44%という結果でした。

参加者からは「EZRを実際に使っているところを見ることができて、わかりやすかった。」「傾向スコアや逆数重み付けといったこれまで知らなかったトピックを知ることができた。」「普段使用していない統計解析ソフトの話だったので、大変勉強になりました。」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想（一部抜粋）

- データ分布の重要性が再認識できた。パラメトリック検定の理解が深まった。
- 配布された資料とともに順を追って解析方法などを実演してもらったのでわかりやすかった。
- EZRの具体的な使用法や注意点について詳しく理解できた。
- 初級と中級の2段階の設定がよかった。
- オンラインのためパソコン上で資料を見ることができ、よりわかりやすかった。
- 医学の臨床研究における解析の際に、EZRの限界（できる部分とできない部分）を次回ご教示願いたい。
- ロジスティック回帰分析が分からないので詳しく教えて欲しい。
- 効果的なデータセットの作り方など、基本的なところからご講義いただけだったので、初学者の私でも理解しやすかった。



▲セミナー時（Zoom配信）の様子



▲新谷 歩 先生